

6月 園庭のみかんの木にアゲハ蝶の幼虫が…

幼稚園の園庭のみかんの木に幼虫がついています。年長組は経験から「アゲハだ！」と言い、気が付いた幼児が幼虫を飼育ケースで育てています。年中組も気が付き、アゲハの幼虫をケースに入れて飼うことになりました。

「きれいなみかんの葉っぱを入れて」と先生と一緒にみかんの葉っぱを取り替えたり、幼虫の様子を見たりしています。最初は黒っぽい幼虫から緑色の幼虫に変身し、大きくなるとさなぎになるために糸を吐き、ケースの蓋や内側にくっつきます。

これらの変身を幼児たちは目の当たりにして興味・関心が高まり、生命の不思議さを感じています。今年度、年中組で運よくさなぎから蝶が出ているところを見ることができました。ちょうど保護者が迎えに来た時間になり、蝶が飛び立つのを見ることができました。

